



【会派 NEWS】 2019(令和元)年 8 月 7 日号(改) 週刊 Vol.24
ご意見ご要望はお気軽に 〒184-0012 小金井市中町3-26-15-301
TEL 090-3345-6929 FAX 042-381-5074 watanabedaizou@gmail.com

数字で見る 多すぎる議員定数問題

東京都、大阪府、神奈川県における 人口 11 万人～13 万人の自治体(全 13 市)の議員定数

(同一定数の場合は、人口が多い市を下位とした)

順位	市名	議員定数	人口(人)	面積(k㎡)
1	東京都小金井市	24 人	121,058	11.30
2	東京都青梅市	24 人	134,562	103.31
3	大阪府箕面市	23 人	137,975	47.90
4	東京都昭島市	22 人	113,398	17.34
5	東京都東久留米市	22 人	116,875	12.88
6	東京都国分寺市	22 人	123,029	11.46
7	神奈川県座間市	22 人	130,547	17.57
8	神奈川県海老名市	22 人	132,531	26.59
9	大阪府門真市	20 人	123,164	12.30
10	大阪府羽曳野市	18 人	112,203	26.45
11	大阪府富田林市	18 人	112,470	39.72
12	大阪府松原市	18 人	121,101	16.66
13	大阪府大東市	17 人	121,177	18.27

すでにお知らせしております通り、小金井市議会の 3 会派(情報公開こがねい／自民党信頼／公明党)は、小金井市議会の議員定数が人口類似市に比べて多すぎることから、議員定数を 2 減して、現行の 24 から 22 に変更する条例案を議員提案しています。

定数削減に反対する会派は「議員の負担が増える」などとして強く反発しており、条例案が可決されるかどうかは微妙な情勢です。

本日は、皆様がこの問題を考える材料にさせていただきたく、上掲のとおり、資料を掲載いたしました。

小金井市は青梅市と並んで「24 人」と議員数が最多となっています。青梅市の人口が小金井市より多いことを考慮すれば、小金井市は、東京都、神奈川県、大阪府の人口 11 万人から 13 万人の 13 市の中では、議員定数が一番多いということになります。

財政難で、市民要望に対して適切な予算措置を講

じることができない小金井市が、最も多い議員定数である必要があるのでしょうか。

議員定数を 2 減すれば、年間約 2400 万円の財源を生み出せます。2400 万円の財源を頭金として用意できれば、国や都からの補助金を合わせて約 1 億円規模の市民サービスを毎年行うことができるのです。かなり大きな金額です。

確かに、議員定数が少なくなれば、選挙で当選する難易度は上がります。私にしてみても、利権団体や労働組合や宗教団体の推薦などは一切受けない姿勢で自分の選挙をしていますので、選挙が大変になるだろうとは思いますが。

しかし、議員報酬の費用負担者は市民であり、多すぎる議員定数問題を放置することは、市民常識に照らして許されるものではないと考え、議員定数削減条例を他会派と共同で提案しております。

都市景観の向上をめざして ～改善させることができました～

私は、市議会において、「まちなおし」の提案を続けています。

たとえば、下の写真を御覧ください。これは、昨年12月時点での東小金井駅南口の駅前交通広場の西側の写真です(みずほ銀行 ATM 前)。薄汚れた放置自転車防止柵や三角コーンなどが乱雑に並べられ、虎ロープで連結されていました。

before【改善前】



私は昨年12月の一般質問で、都市景観上、非常に問題が多いと指摘し、改善を求めました(昨年12月17日号でご報告しました)。

私の指摘を踏まえて、市側は対応を検討し、このたび、下の写真のように、都市景観を害するものは撤去され、非常にきれいになりました。

after【改善後】



また、下の写真のとおり、東小金井駅南口の駅前交通広場の東側には、以前駐輪場だった際の区画線がぐちゃぐちゃに引かれたまま残存していました。これも都市景観上非常に問題が多いので、市に改善を求めました。



私の指摘を踏まえて、今月、下の写真のように、都市景観を害する白線は消去されました。いずれは周囲と同じくインターロッキング舗装でさらなる美観の向上をとも思います。白線がなくなっただけで格段に景観は向上しています。



このように、少しの工夫で、都市景観、利便性、安全性が向上すると思われる要素は小金井市内の10町すべてに見受けられます。「まちなおし」運動のさらなる展開で、小金井市をもっともっと住みよいまちにしていきたいと考えております。

私自身も全市を歩き回っていますが、読者の皆様がお気づきの点がありましたら、いつでもお知らせください。すぐに現場にまいります(連絡先は表面に記載しています)。

渡辺大三 プロフィール

1966年、岩手県生まれ。秋田県、宮城県、山形県を経て、9歳から小金井市在住。小金井市立本町小学校、小金井市立小金井第一中学校、東京都立小金井北高等学校、中央大学法学部卒業。株式会社河北新報社(仙台市)で新聞記者。衆議院議員秘書を経て、1993年、小金井市議選に26歳で初当選。以降7期連続当選。